

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（保健体育）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は4問3ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

中学校 保健体育

1 中学校学習指導要領解説「保健体育編」について、次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 次は、「第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕1 目標〔第3学年〕」の一部である。下の①～③に答えよ。

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、A生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を(a)し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、(b)する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

- ① a, bにあてはまることばをそれぞれ記せ。
- ② 第3学年の体育分野で必修となっている領域についてすべて記せ。
- ③ 下線部Aについて、次の文のi～ivにあてはまることばをそれぞれ記せ。

生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするとは、高等学校との発達の段階のまとまりを踏まえて、卒業後も運動やスポーツに(i)な形で関わることができるようにすることを目指し、第3学年では、自己に適した運動の経験を通して、(ii)の修了段階においての「生涯にわたって運動を豊かに実践する」ための(iii)となる知識や技能を身に付け、(iv)した運動種目等での運動実践を深めることができるようにすることを示している。

(2) 次は、「G ダンス〔第1学年及び第2学年〕(1)知識及び技能」の一部である。下の①～③に答えよ。

- (1) 次の運動について、(a)を込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性やA由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、(b)を捉えた表現や踊りを通じた(c)をすること。

- ① a～cにあてはまることばをそれぞれ記せ。
- ② 学習指導要領に示されている3つのダンスは何か、記せ。
- ③ 下線部Aについて、次の文のi～iiiにあてはまることばをそれぞれ記せ。

ダンスの由来では、ダンスは民族ごとの生活習慣や(i)が反映されていること、様々な(ii)の影響を受け(iii)してきたことなどを理解できるようにする。

- (3) 次は、「〔保健分野〕 2 内容 (2) 心身の機能の発達と心の健康」の一部である。下の①～③に答えよ。

ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、(a) への対処をすること。
 (ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、(b) があること。
 (イ) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。
 (ウ) A知的機能、(c)、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、(d) がなされること。
 (エ) B精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求や(a) は、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求や(a) に適切に対処する必要があること。

- ① a～dにあてはまることばをそれぞれ記せ。なお、同じ記号には同じことばが入る。
 ② 下線部Aはどのような機能のことか、2つ記せ。
 ③ 下線部Bについて、次の文のi、iiにあてはまることばをそれぞれ記せ。

精神と身体には、(i) な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていることを理解できるようにする。また、心の(ii) が体にあらわれたり、体の(ii) が心にあらわれたりするのには、神経などの働きによることを理解できるようにする。

- (4) 次は、「E 球技〔第1学年及び第2学年〕 (3) 学びに向かう力、人間性等」の一部である。a～cにあてはまることばをそれぞれ記せ。

(3) 球技に(a) に取り組むとともに、(b) なプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を(c) しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。

- (5) 次は、「A 体づくり運動〔第3学年〕 (1) 知識及び運動」の一部である。a～dにあてはまる語句を下の①～⑥からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を(a) する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。
 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し(b) することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わること。
 イ (c) に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や(d) のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。

- ① 調和 ② 継続 ③ 実生活 ④ 生涯 ⑤ 変化 ⑥ 同調

2 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) ソフトボールの投手が、風車のように腕を大きく1回転させる投げ方のことを何というか、記せ。
- (2) 器械運動の「マット運動」において、「Y字バランス」や「倒立」は何系の技か、記せ。
- (3) バドミントンのラケットの握り方で、ラケット面を床と垂直にして、握手をするように上から持つ握り方を何というか、記せ。

3 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 球技の「サッカー」の学習で、「試合中に声を出しても相手がいてうまくパスがもらえない」と学習カードに記入してきた生徒にどのような「動きのアドバイス」をしたらよいか、記せ。
- (2) 水泳の学習で、正しい「ストリームライン」を習得させるための練習方法について、記せ。
- (3) 器械運動の「跳び箱」で台上前転の技能を習得するための学習において、段階的な練習方法としてどのような場の工夫があるか、記せ。

4 次の(1)～(4)について、それぞれ簡潔に説明せよ。

- (1) 柔道の抑え込みとなる条件について
- (2) 受動喫煙について
- (3) オリンピックの価値のひとつの「卓越」について
- (4) きずの手当として考えられる手立てについて